



# 前回はNYCの観光模様をお伝えしたが、 今回も引き続きセキュリティに関係ない話を しちやいませしよう。それでもタイトルは、 アメリカセキュリティ視察第七弾!!

皆様明けましておめでとう御座います。今年もよろしくお願い致します。「斬、耕平が斬る！」

セントラルパーク・・・  
NY市民の憩いの場、セントラルパーク。



そこには素晴らしい緑の芝生と、池やモニュメントが飾られている。

とは言っても、残念ながら治安が良くなった今でも、ジョギング中の女性がレイプに遭ったなどの被害が後を絶たない。

因みにニューヨーク女子はスニーカーを履いて出勤し、オフィスでハイヒールに履き替えるのが格好良いと思っ

ているのではないかと。これは、帰宅時にレイプや強盗に遭いそうになった時、

走って逃げるためのものであって、格好良さを求めてそう

なっただけではない。

1クの入り口を入ってすぐの所に、ジョンレノンの大ヒット曲「イマジン」のモニュメントがあり、今でも献花が絶えない。ジョンレノンの死を惜しむのは、自分だけではない。

ダコタハウス・・・  
ご存知の方も多いたろう、元ビートルズのジョンレノン

がここに住んでおり、1980年、ファンを名乗る男に射殺されたところである。

最も高級なマンションとしても有名なが、今は一部屋20億円は下らないと言われている。

その向かいのセントラルパ



二人組が立っていた。

中を覗き込むと怪訝な顔をしていたが、俺がセキュリティをやっていると話しかけると、NYPDの警官のように喜んで話し始めた。

何故かNYCでは、セキュリティ関係は人気が高いようだ。ボランティアでここを見張っているとのこと（小遣い銭程度は貰っているようだ）。



シルビアレストラン・・・

ハーレムの老舗ソウルレストランとして有名なお店だ。シルビア叔母さんは、ソウルフードの女王として名を馳せている。



セントニックス・・・  
1940年創業のジャズパブの超老舗。

鱈腹スベアリブを食べた後に向かったが、既にライブは始まっていた。しかし事前に目の前のかぶりつきを予約していたので、最高の席でライブを堪能。



やはりこの時代の日本人は

優遇（我儘が通った）された時代だったのか。今の中国人を我儘放題といっているが、この頃の日本人の方が我儘だったのかもしれない。

しかし、ノリノリの自らもトランペット奏者でもある北海道H社長は、100ドル札を入れようとした。「何やってるんですか？それは100ドル札ですよ！」

「一ドル札と100ドル札を間違っ入れてようとしていると思、止めさせようとした。「良いんだよ中野さん、俺感激したよ、最高だったよ！」

「まあ本人が言うのだから仕方ないか・・・」  
パケツが回り切る頃には集合の声がかかっていたので、外へ出た。

しかしH社長はいつ迄経っても出てこない。  
もう一度店内へ戻ると、まだ席に座りステージに向かつて歓声を上げていた。「社長、何やってるんですか



最後にパケツがリレーされ、その中に好きなだけのチップを入れて回していく。後ろから回ってきたので、我々が最後だったが、自分は慣例に従い？1ドル札を入れた。



なかの こうへい  
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつくし、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



さて、これでNYC編は終わりにして、次回からはラスベガス編の始まりだ。またまた大いに、斬らして、頂こう。



記事に関するお問い合わせはA・P総研まで Tel.03-3202-0971